Ⅳ　選択的評価事項Ｂ　　正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

１　選択的評価事項Ｂ「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る目的

高等専門学校の業務の範囲等については，独立行政法人国立高等専門学校機構法により「機構以外の者から委託を受け，又はこれと共同して行う研究の実施その他の機構以外の者との連携による教育研究活動を行うこと」(第三章第十二条三)，「公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること」が掲げられている。さらに，本校は基本理念として「環境を意識し，地域社会に根ざしたものづくり教育を行う」(福井工業高等専門学校の基本理念等に関する規則，第1章第1条)を挙げている。さらに，本校の第2期中期計画(平成２１～２５年度)には，「小・中学生やその保護者への広報活動，理科教育支援を行う」，「本校が有する知的資源によって，積極的に社会の発展に貢献する」，「地域ニーズを十分踏まえた教育研究活動を展開していくため，地域連携の強化を図る」，及び「地域と連携して開催しているマグネットコンテスト，めがねワクwakuコンテストなどのさらなる展開を図る」ことを明示している(福井工業高等専門学校　平成２３年度自己点検・評価報告書)。

以上のことを受けて，本校では以下の教育サービスを正規課程の学生以外に対して行っている。

(1)　公開講座
(2)　出前授業
(3)　体験入学
(4)　企業人材育成と地域住民の生涯学習支援
(5)　アイデアコンテスト
(6)　図書館の一般開放

これらのことを通して，地域社会との連携を深め，企業や住民への教育サービスを充実させることで地域の文化と産業振興に寄与することを目的としている。

２　選択的評価事項Ｂ「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の自己評価

（１）観点ごとの分析

観点Ｂ－１－①：　高等専門学校の教育サービスの目的に照らして，公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

（観点に係る状況）

本校では「選択的評価事項Ｂ「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る目的」で述べた趣旨に基づいて，正規課程の学生以外に対する教育サービスを実施している。その主な事例を以下に述べる。

(1) 公開講座

本校では，（資料Ｂ―１―①―１）に示す公開講座規則を制定して，毎年度１５件程度実施している（資料Ｂ―１―①―２）。その開催案内は，本校のホームページで公開するとともに，福井県教育委員会（後援），福井ライフ・アカデミー（連携）を通して小中高等学校，地域自治体の広報誌，生涯学習センターや公民館等にも掲示し受講生を広く募集しており，近年の受講生数は増加する傾向がある。平成２３年度には，ものづくり，実験・体験のほか，教養・資格取得に関する公開講座が開講された（資料Ｂ―１―①―３）。この中には，教育研究支援センター所属の技術職員が主体となって開催した公開講座も含まれる。いずれの講座においても受講生の満足度は高く，平成２３年度の平均満足度は約９８％であり，国立高等専門学校機構の第２期中期計画にある「満足度調査において公開講座の参加者の７割以上から評価されるように，…（中略）」という公開講座の目標値を大きく上回っており，平成２２年度以前に開催した公開講座においても同様である（資料Ｂ―１―①―２）。また平成２４年度開催予定の公開講座においては，平成２３年度の参加受講生からの要望を受けて，新たに数学・国語系の講座を開講する予定である。

資料Ｂ―１―①―１

「福井工業高等専門学校公開講座規則（抜粋）」

福井工業高等専門学校公開講座規則

（趣旨）

第１条　福井工業高等専門学校学則第55条に規定する公開講座については、他に別段の定めがあるもののほか、この規則の定めるところによる。

（公開講座の目的）

第２条　公開講座は、福井工業高等専門学校（以下「本校」という。）の教育研究の成果を広く社会に開放し、地域住民の生涯教育の一助とするとともに、地域社会の文化の向上に資することを目的とする。

（講師）

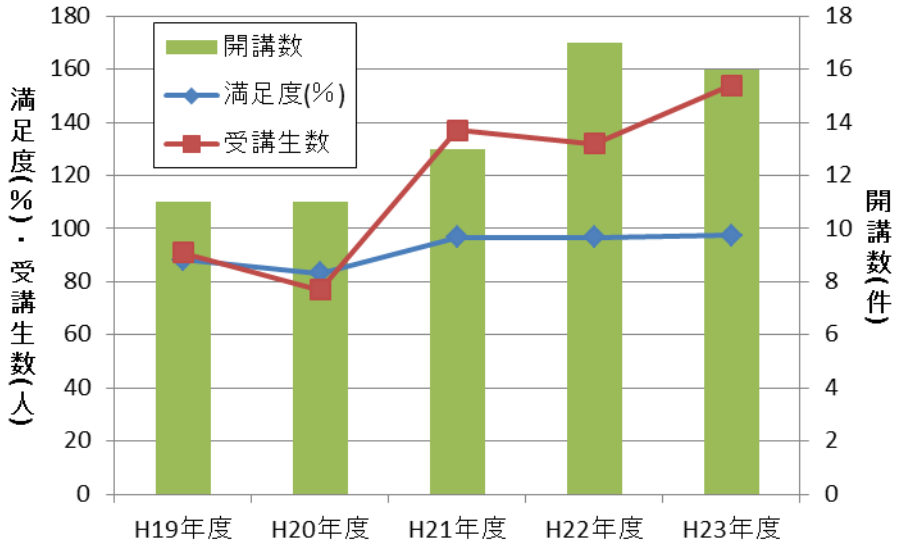
第３条　公開講座の講師は、本校の教職員のうちから校長が委嘱する。ただし、必要がある場合は、校外の学識経験者等を講師として委嘱することができる。

（以下、省略）

（出典　本校規則集）

資料Ｂ－１－①－２

「公開講座の開講数，受講生数と満足度の年度推移」



（出典　総務課）

資料Ｂ－１－①－３

「公開講座一覧」

平成 23 年度　福井高専　公開講座

開　催　日	講　座　名	受講対象	定員	申込締切
5/14(土) 9:00～16:00	防災マップ作成講座①	一　般	10人	5/6(金)
6/18(土) 9:30～16:00	自律ロボット製作入門	小学校5～6年生(保護者要同伴) 中学生	8組	6/10(金)
6/19(日) 9:00～16:00	防災マップ作成講座②	一　般	10人	6/13(月)
7/3(日) 9:00～16:00	防災マップ作成講座③	一　般	10人	6/24(金)
7/24(日) 13:00～16:30	親子理科教室 「作ってみよう！やってみよう！」	小学校3～6年生 (保護者要同伴)	15組	7/15(金)
7/28(木) 13:30～16:30	電子顕微鏡でミクロな世界を見てみよう	中学生	10人	7/20(水)
7/30(土) 10:00～16:00	小さな大工さん講座 「建築模型をつくろう！！」	小学校5～6年生 中学生	8人	7/22(金)
7/30(土) 13:30～16:30	手作りビー玉スターリングエンジン	中学生	10人	7/22(金)
7/31(日) 10:00～16:00	やってみよう　ソーラーカー手作り教室	小学生 (保護者要同伴)	20組	7/22(金)
7/31(日) 13:00～17:00	夏休みの自由研究講座 「ちからとかたち」	小学校4～6年生	10人	7/22(金)
7/31(日) 13:30～16:30	紙コプターを作ってみよう	中学生	20人	7/22(金)
8/13(土) 13:00～17:00	電子工作教室 「ＦＭラジオを組み立てよう」	小学校4～6年生（保護者要同伴） 中学生　※1家族から参加1名まで	10組	8/1(月)
9/10(土),11(日) 13:00～16:00	初めての簡単プログラミング	小学校4～6年生	10人	9/1(木)
9/10(土) 13:00～16:00	オリジナルの栞をつくろう2011	中学生	5人	9/1(木)
9/10(土),11(日) 13:00～16:00	光るタンパク質の不思議 「遺伝子組換え実験にチャレンジしよう」	中学生	5人	9/1(木)
9/24(土),25(日),11/5(土) 10:00～12:00	英検準２級合格をめざして	中学生以上 (英検3級取得者が望ましい)	20人	9/12(月)
10/1(土),2(日),11/5(土) 10:00～12:00	英検３級合格をめざして －受験対策講座－	中学生以上	20人	9/20(火)
12/17(土),18(日) 10:00～12:00	英文法基礎講座	中学校３年生	20人	12/5(月)

お申込・お問合せ先；
福井工業高等専門学校総務課　〒916-8507 福井県鯖江市下司町 TEL(0778)62-1881 FAX(0778)62-2597

（出典　平成２３年度公開講座募集要項）

(2) 出前授業

本校における出前授業は，知的資源を社会に紹介することに加えて，ものづくりや科学実験等を通して理工系分野への興味関心を抱かせ，理科教育増進の機会を提供することを目的に，主に小中学生を対象として毎年度３０件程度実施している。出前授業の募集や過去の実施例は，本校ホームページで公開している(資料Ｂ―１―①―４，５)。本校における出前授業の大きな特徴は，教員や技術職員が参加するほか，ほとんどの場合，学生を帯同させることにある。帯同学生は出身小中学校に赴くことも少なくなく，母校の先生や後輩にたくましく成長した人間性を披露し，誇らしくそして自信に満ちてものづくりや実験の指導を行っており，受講生側もそのような学生に対して親近感を抱き，和やかな雰囲気で科学を身近に感じる様子が多く見受けられる。

福井のものづくり技術を紹介することを通して，地域の子供たちの科学やものづくりに対する関心を高めることを目的に開催されている，(財)福井県産業会館主催イベント「おもしろフェスタ in サンドーム福井」(来場総数約 15,000 名)にも平成１９年度から毎年度本校教職員と学生が協力参加し，おもちゃづくりや化学実験等の指導を行うことで，地域の活性化に貢献している(資料Ｂ―１―①―６)。この他，本校学生と地域住民との交流も兼ねて，本校課外活動クラブ「サイエンスクラブ」も地元商店街や公共施設のイベント開催にあわせ，出前授業を行っている(資料Ｂ―１―①―７)。

資料Ｂ―１―①―４

「出前授業の案内」

(出典　本校ホームページ http://www.fukui-nct.ac.jp/delivery/)

資料Ｂ－１－①－５

「出前授業の実施例」

HOME > 出前授業 > 過去の出前授業一覧平成23年度

過去の出前授業一覧
平成23年度

親子でおもちゃづくり体験

おもちゃづくりを通してものづくりの醍醐味と、自然の法則を身近に感じてもらう

期日　6月18日
出前授業先　大虫小学校/小学5年生とその保護者 (130名)
担当教職員　【機械工学科】田中ほか

親子おもちゃ工作づくり体験

割りばしと工作用紙で飛行機を作り、飛行機の飛ぶ原理について学ぶ

期日　6月18日
出前授業先　和田小学校/小学4年生とその保護者 (82名)
担当教職員　【機械工学科】加藤ほか

環境学習「太陽熱利用」

太陽熱実験を通じて再生可能エネルギーである太陽熱について理解する

期日　6月20日
出前授業先　豊小学校/小学5年生 (42名)
担当教職員　【電気電子工学科】川本

楽しい化学実験

幼児向けの種々の化学実験を行う

期日　6月21日
出前授業先　岡本幼稚園/4～5歳児とその保護者 (40名)
担当教職員　【物質工学科】上嶋ほか

地球を測る！

「東日本大震災と世界の災害」「災害と地球環境」「災害と環境を測定する」といったテーマに沿って講義と実測を行う

期日　7月15日
出前授業先　安居中学校/中学2年生(28名)
担当教職員　【環境都市工学科】辻子ほか

超低温の科学

身の回りのおもしろい科学を体験してもらい，理科に興味を持ってもらう（風船割り、アイスクリームなど）

期日　8月9日
出前授業先　浜四郷公民館/小学1～6年生 (30名)
担当教職員　【物質工学科】津田ほか

LEGOでロボットを作ろう

LEGO Mindstorm NXTを利用してライントレースロボットを作成し、プログラミングとロボットの制御について体験してもらう

期日　8月9日
出前授業先　越前市生涯学習センター/小学1～6年生 (16名)
担当教職員　【電子情報工学科】西ほか

人工の雷、静電気モータ、マジカル風車

上記に関連した工作を行い、製作した風車等を使って実験を行う

期日　8月11日
出前授業先　越前市生涯学習センター/小学1～6年生 (30名)
担当教職員　【電気電子工学科】川本

（出典　本校ホームページ http://www.fukui-nct.ac.jp/delivery/h23.html）

資料Ｂ－１－①－６

「おもしろフェスタ in サンドーム福井 2011」

（出典　総務課）

資料Ｂ－１－①－７

「課外活動クラブによる出前授業」

（出典　サイエンスクラブ）

(3) 体験入学

従来本校では，中学生全学年，その保護者と中学校関係者を対象にして，春季と夏季に体験入学(オープンキャンパス)を実施していたが，平成２３年度からはさらに中学３年生のみを対象に秋季にも開催し，３回の体験入学を通して本校への進学の動機付けを深める機会を提供している(資料Ｂ―１―①―８)。春季開催時においては本校全体の雰囲気と高専教育制度の概要・特徴の認識・理解を図り，夏季には５学科(機械工学科，電気電子工学科，電子情報工学科，物質工学科及び環境都市工学科)を体験することで，各学科の教育内容と特徴等を理解させ，秋季には希望する２学科での授業体験を通して学科の特徴を確認し，志望学科の決定と進学意志を固める機会としている。

資料Ｂ―１―①―８

「平成２３年度体験入学開催ポスターと体験入学の様子」

（出典　学生課）

また，女子中学生とその保護者を対象にした体験学習会を平成２１年度から行っている。これは，我が国における女性の技術産業分野への進出割合が，欧米諸国に比べると低い現状を受けて，女性技術者や研究者の将来的な確保を目指し，女子中学生の理工分野への進路選択支援を目的にしたものである。同体験学習会は各学科所属の女子学生の協力の下で，日常生活の中で経験する科学的・工学的題材に基づき，５学科(平成２３年度からは課外活動クラブであるサイエンスクラブも参加)の特徴的なものづくりやデモ実験を行った後，女子学生主導で懇談会を実施して理工系に対する近親感を育む企画となっている(資料Ｂ―１―①―９)。また，同体験学習会に参加する女子中学生は県内出身者がほとんどであるが，石川県，滋賀県，京都府や兵庫県から参加する例もあり，その参加者数も特に３年生については増加する傾向が認められ(資料Ｂ―１―①―１０)，女子中学生や保護者の立場からすると同体験学習の開催を期待していると考えられる。

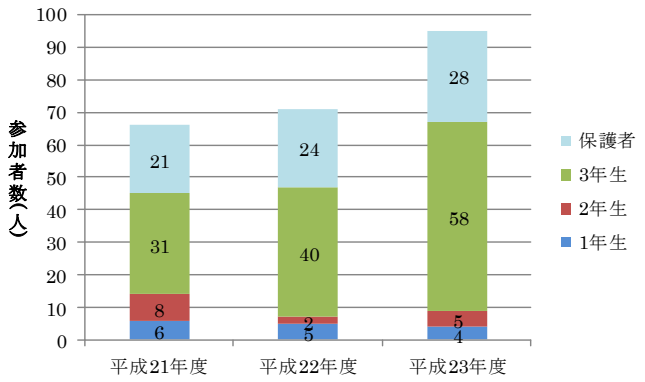
資料Ｂ―１―①―９

「平成２３年度体験学習開催ポスターと体験学習・懇談会の様子」

（出典　総務課）

資料Ｂ―１―①―１０

「女子中学生と保護者を対象とした体験学習参加者の年度推移」



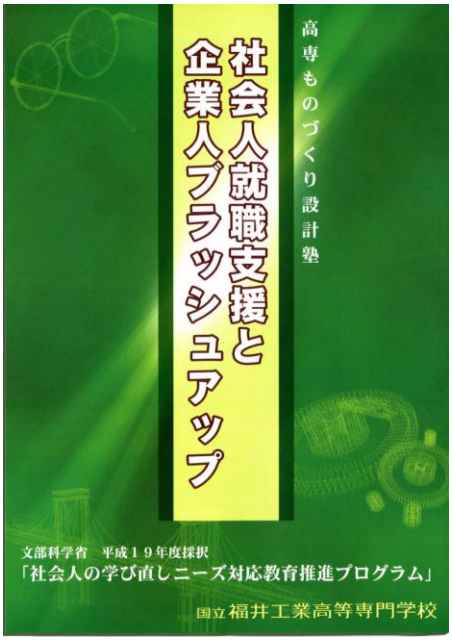
（出典　総務課）

(4) 企業人材育成と地域住民の生涯学習支援

本校では，平成１９年度に文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業委託」事業採択を受け，平成１９～２１年度にかけて社会人を対象に「高専ものづくり塾 3D デザイン・設計講座」を開催した(資料Ｂ―１―①―１１)。同講座は，福井県内は眼鏡枠や電子部品工業等を代表とする中小企業が多く，新規技術開発に携わる技術者不足や，団塊層の熟年者の再就職希望が多いことを受けて，就職支援と企業人のブラッシュアップを目的にしたもので，地元産業界が望む３次元 CAD 技術の習得を通して地元企業が求める人材発掘と，就業している技術者のスキルアップに努め，地域に貢献した。さらに，文科省の委託期間終了後の平成２２年度には，地域からの要望が依然高いことから本校の自立事業として初心者向けの講習を開催した。

資料Ｂ―１―①―１１

「高専ものづくり設計塾 受講生募集ポスター」



（出典　総務課）

本校は，経済産業省の平成１８年度「高等専門学校等を活用した中小企業人材育成事業」に参画し，本校が有する設備やノウハウを活用して，若手技術者を対象に原子力・放射線，機械工学の基礎知識と技術を教授し，福井県の特徴である原子力発電に関連する分野への異分野からの参入と，基幹産業である眼鏡産業等の人材育成を支援するものである。この事業はその後，福井県中小企業産業大学校の研修事業「機械工学の基礎」に引き継がれ，本校機械工学科教員と技術職員が担当し，毎年１５名程度の受講生に対してものづくり技術の基盤となる機械工学の基礎知識を講義指導している(資料Ｂ―１―①―１２)。

また，福井県生涯学習大学開放講座協議会にも参加し，環境関係を専門とする本校教員による大学開放講座を持ち，地域振興に貢献している。

資料Ｂ―１―①―１２

「機械工学の基礎 受講生募集案内」

（出典　福井県中小企業産業大学校 http://www.fisc.jp/fiib/2011/mechanical-engineering.pdf）

この他，本校の文化的事業の一環として平成２１年度よりクラシックコンサートを開催し，地域社会に対しても開放している。同コンサートの開催は，本校学生の情操教育の一つとしての位置付けもある。毎年，本校学生も含め地域住民の来場者数は 300～400 名程度あり，地域住民からは“本校のイメージ向上に繋がるイベントである”との好意的な意見も多く寄せられている(資料Ｂ―１―①―１３)。

資料Ｂ―１―①―１３

「クラシックコンサート開催案内と当日の様子」

（出典　総務課）

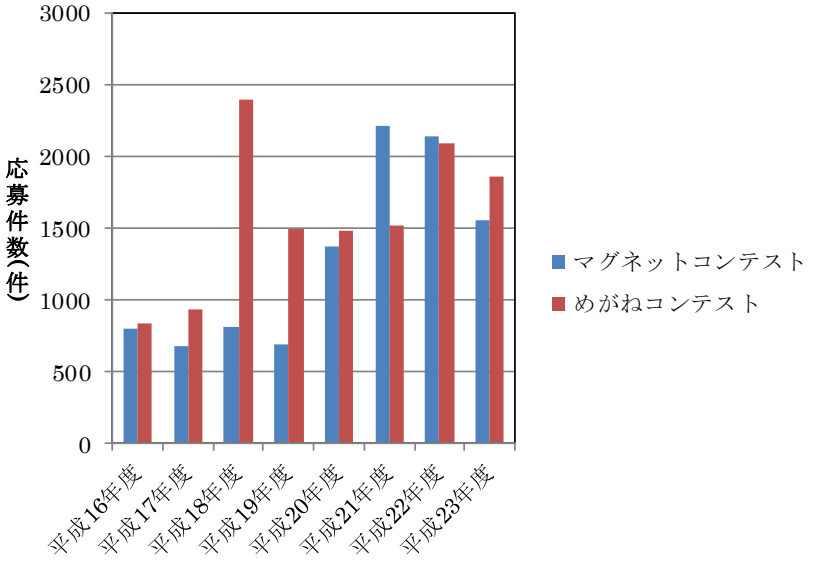
(5) アイデアコンテスト

本校に隣接した越前市における地場産業である強力磁石製造企業とともに，小中高生等の理科離れ防止のためにマグネット(磁石)を用いたアイデアコンテストを平成７年度より行い，全国の小中高生のみならず大学生から多くのアイデアが寄せられている。さらに，平成１６年度からは地場産業である眼鏡工業組合と共同で，応募対象者をマグネットコンテストと同様として，眼鏡に関するアイデアコンテストを開催している。(資料Ｂ―１―①―１４)には，各アイデアコンテストの応募件数の年度推移を示したが，近年は両アイデアコンテストとも 1,500 件を超えるアイデアが全国から寄せられており，このことからこれらのコンテストの開催は，小中高生の理科離れ防止のみならず，地場産業の全国に対する情報発信にも繋がっていると考えられる。なお，両コンテストとも優秀なアイデア作品は表彰する(資料Ｂ―１―①―１５)とともに，製品化が可能なものについては試作もされ，地域イベントで披露されている。

この他，平成２１年度からは福井県防災士会とともに「防災マップコンテスト」を開催し，地域住民の防災に対する意識高揚を，さらには越前市教育委員会主催の「越前市中学生ロボットコンテスト」と，福井県医科医師会主催の「歯みがきロボットコンテスト」の事業をそれぞれ支援し，理科系教育増進とものづくりに対する興味喚起を図っている。

資料Ｂ－１－①－１４

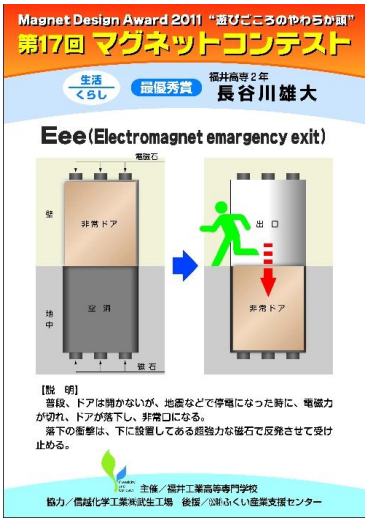
「アイデアコンテストの応募状況」



（出典　総務課）

資料Ｂ－１－①－１５

「アイデアコンテストの優秀作品と表彰式」



（出典　総務課）

(6) 図書館の一般開放

本校では，福井工業高等専門学校図書館利用規則を制定し(資料Ｂ―１―①―１６)，地域社会に対する貢献として図書館を一般開放し，図書等の貸出しにも応じている。また本校図書館は，福井県内図書館横断検索システムにも参加しており，県内主要図書館が有する蔵書の一括検索と物流システムの活用による蔵書の賃借が可能となっている(資料Ｂ―１―①―１７)。

資料Ｂ―１―①―１６

「福井工業高等専門学校図書館利用規則(抜粋)」

福井工業高等専門学校図書館利用規則

（趣旨）

第１条　福井工業高等専門学校図書館規則第6条の規定に基づき、この規則を定める。

（開館）

第４条　図書館は、毎日8時30分から20時（土曜日は9時から16時30分）まで開館し、閉寮期間は毎日8時30分から17時（土曜日は休館）まで開館とする。ただし、日曜日、国民の祝日（その日が日曜日にあたるときは、その翌日）、高専祭行事期間中、年末年始（12月28日から翌年1月4日まで。）を休館とし、その他館長が必要と認めたときも休館できるものとする。

（利用者の範囲）

第５条　図書館を利用できる者は、次のとおりとする。

一　本校学生

二　本校教職員

三　図書館の利用を申し出た一般の利用者（以下「一般利用者」という。）

（館外貸出し）

第７条　図書等の館外貸出しを受けようとする者は、借り受けようとする図書と次に掲げるものを係員に提示し、所定の手続きを行うものとする。ただし、一般利用者は予め貸出申請をし、図書貸出票の交付を受けるものとする。

一　本校学生　　学生証

二　本校教職員　身分証明書

三　一般利用者　図書貸出票

（以下、省略）

（出典　本校規則集）

資料Ｂ―１―①―１７

「学外者の図書館入館者数等」

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学外者入館者数	42	72	130	117
学外者貸出冊数	116	115	328	224
相互貸借貸出冊数(県内公共図書館･大学図書館)	30	131	148	140

（出典　本校図書館）

（分析結果とその根拠理由）

独立行政法人国立高等専門学校機構法，本校の基本理念と第2期中期計画に基づき，正規課程の学生以外に対して公開講座や出前授業を始めとする多くの教育サービスを計画・提供し，地域産業や文化の振興等の社会貢献に寄与している。特に，全国規模で行っているマグネットと眼鏡に関するアイデアコンテストの近年の応募件数はともに1,500件を超えており，若年層の理科離れ防止にもなっており，十分な教育サービスを実施しているといえる。

観点Ｂ－１－②：　サービス享受者数やその満足度等から判断して，活動の成果が上がっているか。また，改善のためのシステムがあり，機能しているか。

（観点に係る状況）

観点Ｂ―１―①で述べたように，近年の本校における１年間当りの公開講座の開講数は１５件程度，また出前授業実施件数は３０件程度あり，アンケート調査を通して得られた近年の公開講座受講生の満足度は(資料Ｂ―１―①―２)に示したように約９８％であり，この数値は国立高等専門学校機構の第２期中期計画における公開講座の目標値を大きく上回っている。このようなアンケート結果は「公開講座委員会」や講座担当者に報告され，次年度開催に向けた有用な資料となっている。

なお，平成２３年度の受講生(中学生)からは“英語以外の教科に関する講座も開講してほしい”との要望があり，「公開講座委員会」にて諮った結果，平成２４年度の公開講座では数学・国語系の講座を新たに開講することになった(資料Ｂ―１―②―１)。

資料Ｂ―１―②―１

「公開講座委員会議事要旨(抜粋)」

平成２３年度第１回公開講座委員会議事要旨

日　時　　平成２４年２月２日（木）　17：25～17：50
場　所　　大会議室
出席者　　田中委員長、加藤（寛）、川本、蘆田、津田、山本（裕）、廣重、鍛治の各委員及び山田教員（廣部委員の代理）
陪席者　　評価・地域連携主任

議　事

１．平成２３年度公開講座実施状況について
委員長から、別紙資料№１～４により実施状況の説明があった。

２．平成２４年度公開講座開設について
委員長から、平成２４年度公開講座について、各学科・教室で検討して「実施計画表」（資料№５）を作成し２月２９日（水）までに総務課に提出してほしいとの依頼があった。
特に、資料２の受講者アンケートの自由意見として数学、理科、国語などの受講希望があることから、一般科目教室から一層のご協力を願いたい旨、要請があった。

（出典　総務課）

さらに，ものづくりやデモ実験を中心としたテーマで近隣の小中学校で実施した出前授業は，平成２３年度は２８件実施し，受講生は約 2,000 名であった（資料Ｂ―１―②―２）。これまでに参加した小中学生の反応は極めて良好であり，例えば（資料Ｂ―１―②―３）に示すような感想文も頂戴し，出前授業を契機にものづくりや理系分野に興味関心を持つ小中学生が多く見受けられる。今後も多様なニーズに応えられるように，内容を含めテーマ数の拡充を目指したい。

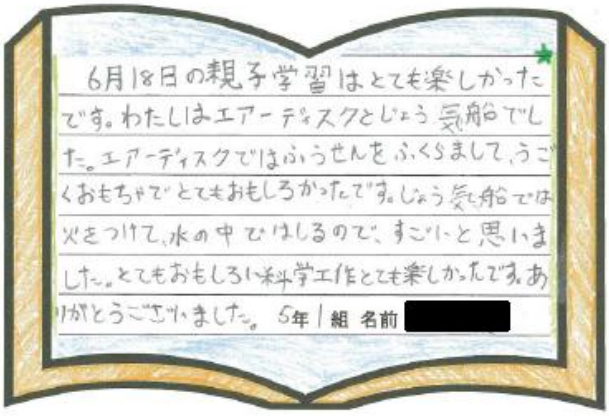
資料Ｂ―１―②―２

「出前授業の様子」

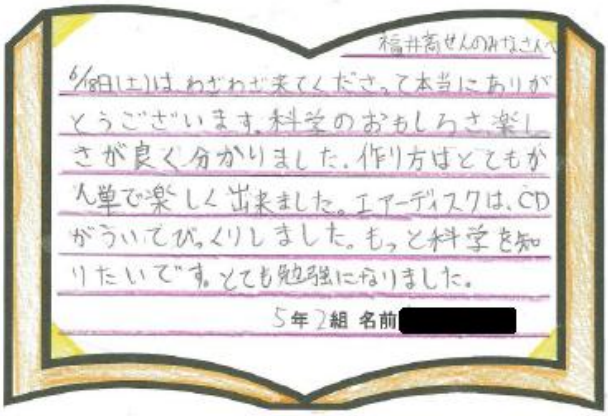
（出典　機械工学科）

資料Ｂ―１―②―３

「出前授業の感想文例」



6月18日の親子学習はとても楽しかったです。わたしはエアーディスクとじょう気船でした。エアーディスクではふうせんをふくらましてうごくおもちゃでとてもおもしろかったです。じょう気船では火をつけて、水の中ではしるので、すごいと思いました。とてもおもしろい科学工作とても楽しかったです。ありがとうございました。 5年1組 名前[redacted]



福井高専のみなさんへ

6/18(土)はわざわざ来てくださって本当にありがとうございます。科学のおもしろさ、楽しさが良く分かりました。作り方はとてもかんたんで楽しく出来ました。エアーディスクは、CDがういてびっくりしました。もっと科学を知りたいです。とても勉強になりました。

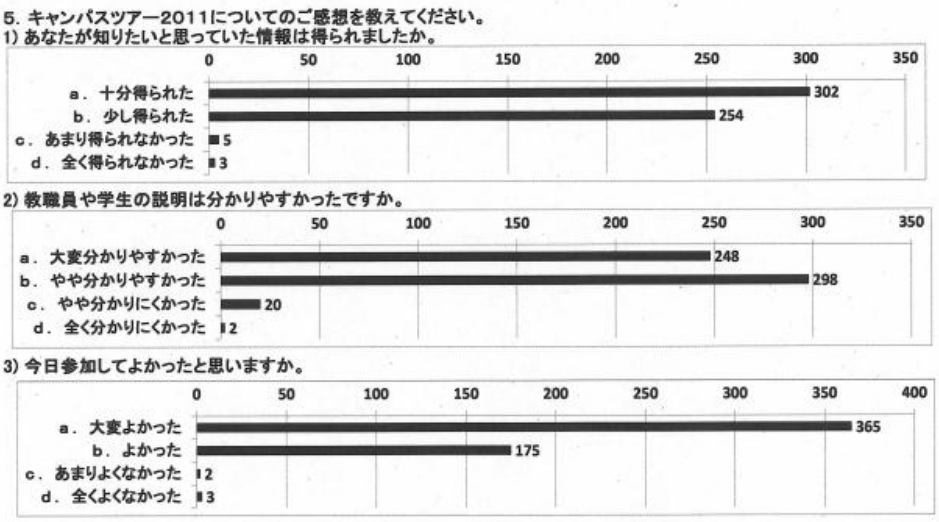
5年2組 名前[redacted]

（出典　機械工学科）

本校では，春季・夏季・秋季の３回(平成２２年度以前は，春季と夏季の２回)体験入学(オープンキャンパス)を実施している。平成２３年度夏季に実施した体験入学(キャンパスツアー2011)参加者のアンケート集計結果(抜粋)を(資料Ｂ―１―②―４)に示すが，本校から参加者に対して行った情報提供や体験内容の満足度は極めて高い。これらの結果を含め，体験入学参加動機や知りたい情報内容等を全教員に周知し，次年度開催に向けた有用な資料としている。また，女子中学生の理工分野への進路選択支援を目的に，平成２１～２３年度に実施した女子中学生(参加者総数 160 名)と保護者対象の体験学習のアンケート結果の一部を，(資料Ｂ―１―②―５)に示した。当日の参加者の中には，理系分野に対して苦手意識を有する中学生も１７％含まれているが，このような中学生も理系の実験には高い興味意識を持っている。そして，同体験学習で行ったものづくりやデモ実験に対しては，ほとんどの中学生が興味を抱き，同体験学習を通して理系分野に対する抵抗感が軽減できたといえ，今後もこのような機会を積極的に提供することを「企画室」で検討している。

資料Ｂ―１―②―４

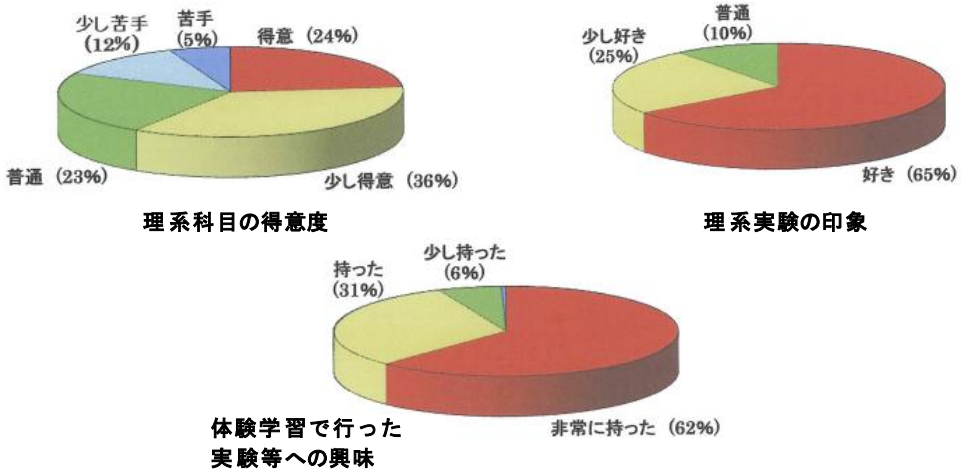
「キャンパスツアー2011 アンケート集計結果(抜粋)」



（出典　学校運営会議）

資料Ｂ―１―②―５

「女子中学生ための体験学習アンケート集計結果」



（出典　総務課）

本校機械工学科教員と技術職員が担当して講義指導を行っている，福井県中小企業産業大学校の研修事業「機械工学の基礎」では，その対象者は初任者から熟練者までと幅広く，さらに機械工学やその周辺分野に関する予備知識の個人差も大きい。このため，簡単な実験や実習時間も確保しながらの体験的な学習や，図やグラフ等を潤沢に用意するなどの工夫をして同講座を開講しており，受講生からは概ね良好な評価が得られている(資料Ｂ―１―②―６)。ただし，時間の制約上，受講生によっては理解困難なところも少なくないようで，このような意見も担当者に返され，次回の開催に向けて改善策の検討を促している。

資料Ｂ―１―②―６

「「機械工学の基礎」受講生の感想」

受講者の声

・機械工学を学ぶ機会がなく、今回の研修で学ぶことができ、大変勉強になりました。どの講師の方も図や実験等を取り入れてくださってとても分かりやすく教えて頂きました。

・機械製造に関しての総合的な知識が身についた。

・身の回りの事例などから原理を整理できた。

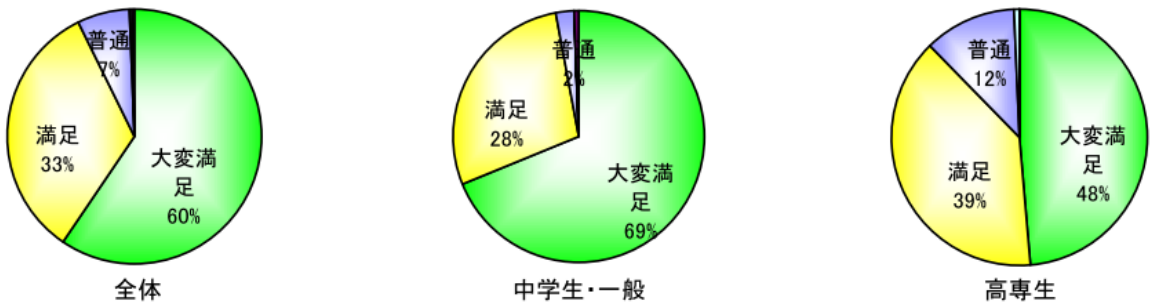
・工場を見学して様々な機械を見れて勉強になった。

（出典　中小企業産業大学校ホームページ http://www.fisc.jp/fiib/2011/2011170.html）

本校学生の情操教育と地域社会に対する文化的貢献を目的に開催しているクラシックコンサートにおいても，アンケートを通して満足度を調査している。(資料Ｂ―１―②―７)は，平成２３年度に行った満足度の集計結果(アンケート総数 339 名，回答率８１％)であるが，本校学生を含め来場者の９３％が「大変満足」又は「満足」と回答しており，好評であったといえる。来場者からは“地域に開かれた学校として今後もこのような機会を催して欲しい”や，“工業系のイメージが強い学校だと思ったが，こういうコンサートがあると文化的にも力を入れていることがわかり，学校に対する見方が変わった”等の好意的な意見が多くあった。

資料Ｂ―１―②―７

「クラシックコンサートアンケート集計結果」



（出典　総務課）

（分析結果とその根拠理由）

正規課程の学生以外に対して公開講座，出前授業，体験入学等の多くの教育サービスが実施されており，またそれらへの参加者数も多く，満足度も高い評価を得ていることから，活動成果は上がっていると判断される。さらに，公開講座や体験入学等におけるアンケート結果は，担当委員会のみならず担当者にもフィードバックされ，次回開催に向けた改善策を審議検討するシステムも機能している。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

本校単独のみならず福井県や企業・機関とも連携しながら，正規課程の学生以外を対象とした教育サービスプログラムを多数用意し，サービス享受者からの満足度も高い。公開講座，出前授業，アイデアコンテストは，その対象者の多くは小中学生で，特にアイデアコンテストに関しては全国規模でのアイデア募集のため，これらを通して若年層の理科系教育増進に大きく寄与している。さらに，企業人材育成や地域住民の生涯学習推進の観点から関係講座の開講，クラシックコンサートの開催や一般者の本校図書館の利用も可能としており，本校の有する設備や知的資源を地域社会に提供し，活性化に貢献している。

（改善を要する点）

特に出前授業に関しては，その受講対象人数が膨大であるため，組織的なアンケート調査は行っておらず，今後評価体制を構築して改善する必要がある。

（３）選択的評価事項Ｂの自己評価の概要

本校は基本理念に「環境を意識し，地域社会に根ざしたものづくり教育を行う」を掲げ，さらに本校の第２期中期計画(平成２１～２５年度)には，「小・中学生やその保護者への広報活動，理科教育支援を行う」，「本校が有する知的資源によって，積極的に社会の発展に貢献する」，「地域ニーズを十分踏まえた教育研究活動を展開していくため，地域連携の強化を図る」，及び「地域と連携して開催しているマグネットコンテスト，めがねワクwakuコンテストなどのさらなる展開を図る」ことを明示し，地域社会に対して幅広い教育サービスを実施している。

近年行っている公開講座・出前授業の回数と受講生総数は１年当りそれぞれ約５０回，2,000名を超える。特に，ものづくりや科学実験を中心に行っている公開講座・体験入学や女子中学生を対象とした体験学習の受講生満足度は非常に高く，中学生の進路選択支援にもなっている。また，マグネット(磁石)と眼鏡に関するアイデアコンテストでは全国規模でアイデアを募り，若年層の理科系教育増進とものづくりに対する興味関心を啓発する機会を提供しており，最近の3年間の応募件数は両アイデアコンテストとも1,500件を超えている。この他，本校図書館の一般者への開放，地域住民の生涯学習に対する協力事業である福井県生涯学習大学開放講座協議会への参加や，中小企業大学校による企業人材の育成事業にも参加するなど，本校の設備や知的資源を広く提供して社会に寄与している。

（４）目的の達成状況の判断

目的の達成状況は良好である。